

駐大連北九州市経済事務所

◆所長 田代 昇三 ◆副所長 益野 裕至

◆副所長 呂 俐

田代 E-mail: yumeiyasu4411@yahoo.co.jp

◆前回に引き続き、中国国内諸都市と比較した親日都市・大連市の特徴についてご紹介させていただきます。

大連市政府幹部と大連日本商工会 ガチンコ討論会 開催！

◆在大連日系企業の経営課題を大連市政府に報告・課題解決を探る。



前回、ご紹介した大連日本商工会の活動として、在大連日系企業の課題を大連市政府と一緒に討論する会議が、2016年1月6日に開催されました。

まず、再度、大連日本商工会について簡単にご紹介致します。

◆大連日本商工会とは、

○大連に存する日系企業から成る組織で、現在約800会員で構成。

○規模は、アジア第3位！上海・バンコクに次ぐ

○大連の日系企業に対しての課題を共有して、時によって政府への答申を行っている。

○地方政府代表として、当事務所も毎月の理事会・幹事会・委員会に参加⇒

多くの日系企業総経理との交流は、生の中国を知る良い機会。

1. 大連市政府との討論会の趣旨、
 - ・大連における日系企業が直面している経営面の問題を大連市政府幹部へ報告
 - ・大連の経済発展動向等の情報共有
 - ・政府と日系企業間の交流を高め、在大連日系企業の安定的発展を確保
2. 日本側参加者：駐大連日系企業代表・領事館・ジェトロ・北九州市 計 22 名
3. 大連市政府参加者：
 - ・盧林副市长他各局責任者 計約 40 名
4. 会議内容
 - ・日系企業の課題を詳細に説明したうえで大連市政府担当局責任者が回答。
課題例：不透明な制度の改善要求。
住宅積立金、暖房費補助金、身障者就業補償金、労働組合経費、
消防施設関連など
5. 日本側から大連市政府に対しての率直な対話（経営環境改善要望）
 - ・大連経済と日本企業は、約 30 年に渡って共に成長してきたが、今大きな曲がり角を迎えている。
 - ・昨年末からの日中関係の改善により、経済・文化交流も活発化している反面、経済環境、事業環境の急激な変化は新たな課題を生み、多くの既存事業に対する逆風は新常态への移行とともに更に強くなってきている。
 - ・大連市政府の希望する新規誘致・投資環境改善のためには、既存企業の活性化が重要。
 - ・大連での事業付加価値を高める具体的な施策を政府と日系企業が共有することが重要。
 - ・他都市には無い大連における付加価値の創出を日本へ伝えることが大連の投資環境の改善・地域の成長に結びつく。
 - ・大連市政府のリーダーは、「日本を重要視している」と言葉を繰り返してきたが、そうであれば重視していることを目に見える形で表してほしい。
これは、日系企業に対する優遇措置であり企業の負担軽減のための環境整備である。
6. 所 感
大連市は、日系製造業の誘致を古くから進めて成長してきました。昨今、人件費・物価の高騰で、進出日系企業は、大連に限らず多くの課題を抱えています。
一方で大連市は産業構造の転換を図るべく付加価値のあるサービス産業の誘致に果敢に取り組んでいます。
しかし、既存日系企業が苦しんでいる都市に新たな投資が生まれることは簡単ではありません。

今回の討論会では、大連市政府幹部に日系企業の経営上の問題点を理解してもらい、改善を求める強い発言が日本側からありました。

上記のように、日系企業が地方政府幹部と真っ向から意見交換をする機会があるのは、親日都市大連市の特徴でもあります。

中国では、通常、このような問題討議の際或いは都合の悪い会議への幹部の出席は無いでしょう。

日系企業の経営が大連の経済に大きな影響を及ぼす事は、大連市政府も承知している表れです。

○大連の物価事情パート2

以下は最近森ビル近くにオープンした日本料理店の唐揚げ定食です。

この唐揚げ定食の価格は30元（約600円）です。北九州市内での昼食の価格と同程度ではないでしょうか。

周辺の日本料理店よりも安く、味も悪くないためオープン以来評判は上々のようです。

但し、やはり北九州（日本）の方が美味しく、質も信用できるため、中国人が日本で爆買及び日系企業とのビジネスを好む理由がお察しいただけるかと思えます。

